【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2004-55787(P2004-55787A)
【公開日】平成16年2月19日(2004.2.19)
【年通号数】公開・登録公報2004-007
【出願番号】特願2002-210578(P2002-210578)
【国際特許分類第７版】
　ＨＯ１Ｆ　37/00
　ＨＯ１Ｆ　27/24
　ＨＯ１Ｆ　38/02
【ＦＩ】
　ＨＯ１Ｆ　37/00　　Ａ
　ＨＯ１Ｆ　37/00　　Ｍ
　ＨＯ１Ｆ　37/02
　ＨＯ１Ｆ　27/24　　Ｖ
　ＨＯ１Ｆ　27/24　　Ｗ
　ＨＯ１Ｆ　27/24　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月6日(2005.6.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】直流リアクトルおよびそれを用いたインバータ
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　複数個のコアを磁気的空隙を介して対向させ、その磁気的空隙近傍に永久磁石を配置させかつ前記複数個のコアのいずれか１つ以上に１個以上のコイルを巻回して成る直流リアクトルにおいて、前記コアが積層させた二方向性電磁鋼板から成るものであることを特徴とする直流リアクトル。
【請求項２】
　前記コアがＥ、Ｔ、ＣおよびＩ字状コアのうちの複数個の組み合わせから成るものであり、各コア中に流れる磁束の方向が積層させた二方向性電磁鋼板の磁化容易磁化方向と同じにすることを特徴とする請求項１記載の直流リアクトル。
【請求項３】
　前記コアがＥ字状とＩ字状の積層させた二方向性電磁鋼板を組み合わせたものであることを特徴とする請求項２記載の直流リアクトル。
【請求項４】
　前記コアがＴ字状とＣ字状の積層させた二方向性電磁鋼板を組み合わせたものであることを特徴とする請求項２記載の直流リアクトル。
【請求項５】

前記コアがＩ字状とＣ字状の積層させた二方向性電磁鋼板を組み合わせたものであることを特徴とする請求項２記載の直流リアクトル。

【請求項６】

前記コアが２個のＣ字状の積層させた二方向性電磁鋼板を組み合わせたものであることを特徴とする請求項２記載の直流リアクトル。

【請求項７】

前記コアが４個のＩ字状の積層させた二方向性電磁鋼板を組み合わせたものであることを特徴とする請求項２記載の直流リアクトル。

【請求項８】

前記コアが対向した磁気的空隙の中に永久磁石の磁化方向がコア中に流れる磁束の方向と平行な方向となるように前記永久磁石を配置したことを特徴とする請求項１～７のいずれか１項記載の直流リアクトル。

【請求項９】

前記コアが対向した磁気的空隙の横に永久磁石の磁化方向がコア中に流れる磁束の方向と垂直な方向となるように前記永久磁石およびヨークを配置したことを特徴とする請求項１～７のいずれか１項記載の直流リアクトル。

【請求項１０】

前記コア中に流れる磁束の方向を容易磁化方向と一致するように二方向性電磁鋼板を打ち抜き、これを積層してコアを形成し、このコアを２個以上対向させ、１個以上のコイルを前記コアに巻回し、該コアが対向して形成した磁気的空隙の近傍に永久磁石を配置することを特徴とする直流リアクトルの製造方法。

【請求項１１】

請求項１ないし９のいずれかに記載の直流リアクトルを搭載したことを特徴とするインバータ。

【請求項１２】

請求項１０に記載の方法により製造された直流リアクトルを搭載したことを特徴とするインバータ。